

前英大使の訪日注目さる

日本朝野と會見交驩

「上海四日發回電」外務次官田中電轉した前駐英公使カドガツ氏は、昨來六日午後曉出帆のエアリスオス。カナダが發着に歸國することとなつた。カドガツ大使は歸國の途日本訪問し、日本朝野と會見する事になつた。是が英國の外交が極度活潑な動きを見せつゝある今日特に、英使は歸國後訪日、外相を輔佐して外務次官の要職に坐する人だけに、日本訪問は多分の關心を以て注目されてゐる。即ち舊英國支經使館リッスロ氏は議會各派との會見の隙、支那の舞臺は陶然安定のため日々に對して一肌、それらの關係は、自らは東漸安んずるものと見られてゐる。

さて、カドガツ大使が今回來過後リッスロ氏と會見し、既に支那を心とする日英關係に關し充分の打合せを行つたと言はれて居り、バーク氏が再度訪日しが中絶され、補佐官のボール・パット氏が代りに赴日することになつたので、大使は寧ろ今回の訪日を、日本の現狀に對する認識を深めることに對して英國今後の全般的日英外交に重大な與を爲さんとてゐるものと見られてゐる。

國交調整の根本條件

有田外相も勿論之を踏襲

此かの變りもな、要するに以上は何か所かの誤解で、
コレソソ博士
エデプトへ
オピア皇帝の委任最高顧問
アレクサス・コレソソ博士は近
くアスバ・バグエエデプトに
向ふ旨三日發表された。コレ
ソソ博士の代表行は公使
には病氣歴害となしと言は
れてゐる。コレソソ博士は
エデプトへは石油利益
問題で鳴りし大商人事業家
としてゐる。

飛機場を襲撃す

政府に抗議し、又之を拒んで市民
 野郎も客席に於ける次第であ
 る。有田外相は勿論論敵の
 相の外、外交界に於ける地位
 たるを以て、三週間が日空に
 閉居する根本原因である。

「アデス」アベバ(四日發國通) 低空に降下、機關銃をもつて
 イタリ軍飛行機は四日空に
 飛往場を廻射するに格納庫
 前翼を描いて「アデス」アベバ
 は絳色の軍服の如く有様となり、
 ナボロの軍飛行機一隊は日空

々々に破壊されたが人命に
 害はない
 機械化部隊躍進
 「ローマ三日發國通」イタ

明朝入京の南大將に
凱旋將軍の禮遇



「東京通信」六朝ノ京として開府を迎へせらる
れ東京大府に中島侍從宮内卿、同兼參議西尾善造中
御、陪食を又付けられる
上、天皇陛下に當分の
御付られ十三日には南大
三ツ木に御遊幸の儀有
る。此の御遊幸は、

競賣制廢止案を緩和 新案を提出す

【東京通信】「スター」に於ける日露協定條約改訂交渉に對し我政府は出来る限、速に公平妥當なる新協定を成立を希望する。この親我の改訂案案に著るの修正を加へた新案を露國政府に提出した。之に對する露國國の回答は未だ到著しないが兩三日中に等かの具體的の回答があるものと期待する。其の回答内容の如何は又後述する。

露國の飛行軍火大國となつてゐるのことは多大の關心を寄せてゐる。我新提案の根柢は從來主權の尊重と製鉄禁止條件附にて平等と露國協定に於て廣く、カザフ海協定に含ませる。鐵礦並に右協定には包含せられざる我現有勢力邊境の兩に對し一率に十二年度の長期延長を認めざるの安定を確保するに於ては我國と對しては

今後新鐵礦の取得に限り露國政府の固執する鐵礦を公正にはるゝ事を條件として受諾するの用意があるの點に於ては之に對し露國政府が拒否し得る根據なく我々正しく合理的なる態度に對しては結局之を容認するに至らざらうと期待してゐる。

ライン問題解決を妨げず

英外相下院で説明

(「ロンドン」三日發通) イー
デン外相は三日の下院に於て
カナル問題に對する左の如く
の現状を説明し、外の如く
述べた。

ドイツ政府の回答に關して
は政府は目下仔細に検討中
だが他國のカナル關係保護
の通路も亦、此問題に對す
る正当な要求決定までには
相當日子を要する、從つて
茲暫く先づ折衝を休止す
るを得と考へ二日付の答
復表と會案を遂げ此旨通達
した。尚英佛比三ヶ國通過

參謀本部會議に關しては伊
白兩國政府と英國政府の
要求を諒解し英國政府の
會議を開催する旨受諾を説
明した。會開催期日は未
定だが準備の出来次第第
一に開始するに交渉を成功
に導くが爲には是非とも相互
の信頼を恢復せねばならぬ
と考へ、今回の參謀會議の
如きも此主旨に基いたる事
の解決を訪ねるが如き性質
の問題ではない。

へた。而して民政黨は六日
長老會議を開いてゐる。更に人選
協賛をする筈である。議會
書記官長は政友、貴族院の研
究、公正兩派並に對照と民衆
院、公正兩派並に對照と民衆
院に對すると同様の交渉を爲し
て最後の決定を行ふ豫定
であるが七日の閣議で正式決
定を見る事は困難な模様で結
局一日の閣議で決定される事
とならう。

内宮

せねばならぬが、同會が急
案とする以上不徹底にもあ
つてはならない。故に各
派の態度を見極め協商の
態度を慎重に協議の上各特
別會議に各派一致の建議案
を提出し特別會議の議決
書上會を設置せよ貴族院に
問合ふ委員を舉ぐ急進的

屋樓

佛外相英白伊に通達

「ハカリ三日發國通」ドイツ政府の回答案を検討した結果、アルフレッド外相は先づロカルノ會議の再開を要求するに決定す

英國一蹴す

「ロンドン四國會議」英國

尙任聯盟理事會の招集はフランス總選舉終了後と懸られる

貴族院改革に關し貴族院の一部では反對意見があるものとして時意見を稱へるものと

に參集 同問題に關し協議した結果

酒用

宗

第九三五番

進する、殊に庶政一新を發
揚せんとしてゐる今日であ

るから飽く迄之が實現を期すことを理由として右フランス政府の要請を一蹴した

トモの「主を以て」

南米コロムビヤから

日本支那研究の

五、昭和八年三月に東京府警署より「旅券持者の監査を行ふこと」に決定してゐるが、膠州府官長は四月十日前しつ大廳で警察局長と見合ひし旅帳者一選出方を交へた。結果大廳評議者は同日市史館にあるユムビヒ大學で文學部歴史學を擔當し各名あるドイツ人教授ヲ集フニツド本邦女史は隠れたる熱心な日本文化研究者でもある日本文に關する文獻調査中興の副島八十完治教授は歐米諸大國で日本文

(四十九)

文徳(文徳) 汝はあつて小登(ことう) 銀し
さ登(のぼ)りにも小登(ことう) へん
だ、でも、お母さへん
いっだたかね、お登(のぼ)り
二人きりてうちへ奥(おく)の
二に上(のぼ)り、お登(のぼ)りの
てゐた林檎(りんご)をね、お母
が、お登(のぼ)り、それ分(わ)か
私に下(くだ)らない、お登(のぼ)つ
るんぞ、可笑(わ)しい
なかつた
だ、さうてそんな
てゐたやう
汝は肩(かた)をよめてきいた
あ、いとお父(ちち)ま
屋(や)で、お登(のぼ)り
まゝ裏(うら)から、そし、眼

かしられも手入れをしないもの
で難(が)きはひこてゐる。
玉汝(たまにょ)は何かしら腹(はら)立(た)ししやう
だな、而(しか)し登(のぼ)り泣(な)いては
たやうな氣(き)につて、そ
の念(ねん)ある花畑(はなばた)へ出(で)た
露(つゆ)の空(そら)には、悲(かな)し
風(かぜ)が吹(ふ)いて、肌(はだ)から氣(き)
の悪(わる)汗(あせ)が滲(にじ)出して來(き)た。
彼(かれ)次(つぎ)小登(ことう)さきれた
代(しろ)子(こ)登(のぼ)りやなく
あつたが、ま、義(よ)美(み)さしき
輕(かろ)登(のぼ)り打(う)ち克(く)つた。
男(おとこ)難(が)する女(をんな)の態(ぐさ)度(ど)さ
し、男(おとこ)あんなの……
いつか、代(しろ)子(こ)は玉汝(たまにょ)に
つたことがあつた
つたあひだ代(しろ)士(し)の奥(おく)

んがアメリカからかへつて
らしのて、お登(のぼ)りの上流(じやうりゆう)
奥(おく)人(ひと)の、お登(のぼ)りさきたら
あ、いとお父(ちち)まがまゐるて
は、いとお父(ちち)まがまゐるて
お登(のぼ)り、あちらの義(よ)美(み)さん連中(れんちゆう)

[illegible]

電話(三三〇八五番)

急募

刀劍研師見習 二一名

年齡十七八才位迄者、體格健市内に獲實なる保證人を要す
 意志堅固なる内地人、希細本人親筆書持参、而談の上
 (但電話にての御問合せは一切御断り申上けます)
 刀劍 軍需品 井上 刀劍店
 新京華町二丁目(小學校前) 電話(三三)三三〇番

春一眼

眼鏡なら

専門店清眼堂て

春はどなたも視力検査をなさる時期でございます
 特に御進級、御入塾の準備には是非正確なる眼鏡を御使用下さい。

新京華眼科醫院 御指定
 知識眼科醫院 中山眼科醫院

追而告別式は六日午後四時西本願寺に於て執行可被候
 昭和十一年四月五日

父 松浦 松
 總代 井下 都朗
 友人 得丸 助太郎
 總代 松本 志達
 山口 兵士
 人總代 字 山 兵士

清眼堂

支店 新吉野町 電話(三三)二九二

大連 通街 三五一四七
 奉天 華町 電話三〇六

